

国道51号神宮橋架替に関する技術検討会(第1回)開催結果

○検討会の設置目的

国道51号神宮橋の技術的課題、維持・管理・撤去に係る今後の方策等について、学識経験者等による専門的立場から助言や意見を頂くことを目的として設置しました。

○第1回検討会の構成

(委員長)

・茨城大学大学院 理工学研究科都市システム工学専攻 教授 原田 隆郎

(委員)

・茨城県土木部道路維持課 道路保全強化推進室 室長 海老原 徹

・常陸河川国道事務所 副所長 高橋 哲

○第1回検討会の内容

- ・事業進捗状況について
- ・下部・基礎の構造、施工方法について
- ・上部工支点構造について
- ・鋼材等における単価上昇について
- ・上記に伴う事業費増について

○主な意見等

- ・事業化以降、道路橋示方書の改定に基づき下部・基礎・上部工支点構造が変更になったこと、現場状況により施工方法の変更が必要となったこと、鋼材等の単価上昇について事務局より報告し、確認されました。
- ・上記により、全体事業費が約175億円増加することを事務局より報告しました。
- ・茨城県より「神宮橋架替は、老朽化した神宮橋の架け替えを実施することにより安全・安心な道路ネットワークを形成する重要な防災事業。事業費の増額については、現場状況や物価上昇などからやむを得ないが、早期完成に向け事業を推進していくことと共に、徹底したコスト縮減を図ること」との意見を頂きました。
- ・事業者より「コスト縮減を意識し事業を進めていく」旨説明がありました。
- ・委員長より「事業費増の内容について妥当である」との意見を頂きました。